

穂 学

平成30年度

広州日本人学校学校便り

[No. 5]

平成30年8月22日(水)

発行責任者 教頭 渡邊美佐子

夏休みを終えて、充実した2学期へ

校長 丸本 互

30日間の夏休みも終わり、2学期が始まりました。日本では、「猛暑日」と言われる35度を超える日が続いたり、气象台始まって以来の「大雨」を各地で記録したりと、ニュースで連日のように放送されていました。広州もまた同じように暑い夏が続いています。そんな中でも元気に活動していた様子の日焼けした子どもたちが学校に戻ってきました。大きな事故の報告もなく、笑顔で夏休みの終わりを迎えられ、うれしく思っております。

さて、夏休みには普段出来なかった活動ができたでしょうか。それぞれの思いで過ごした夏休み。この夏に培った力を、9月以降の学習や運動に役立てていって欲しいと思っています。

私は、広州に来なければ行くことのなかったであろう、インドのチェンナイとスリランカのコロomboを旅行してきました。前に派遣されていたメルボルン時代の同期の校長先生が、それぞれチェンナイ補習校とコロombo日本人学校に派遣されたので、この機会にという思いで訪ねてきました。普段できない土地への旅行を通して、厳しい環境の中でも一生懸命頑張っている日本人の方々が大変多くいることを実感してきました。貴重な夏休みになったと思っています。



さて、2学期には、中学部2年生の北京への修学旅行、中学部1年生の深セン宿泊学習、小学部5年生の中山宿泊学習が予定されています。学校とは違う場で、学級や学年の友だちと一緒に過ごし、学習したり友好を深めたりできる大切な場です。下見をしてきた先生方に情報をもらって、自分たちなりの宿泊学習を作り上げられたら、きっと思い出に残るものとなることでしょう。どんな活動ができるのか私も楽しみにしています。また、10月末には学習発表会が予定されています。各学年、今まで培ってきた学習の成果を、自信を持って発表してくれることと思います。参観するのが今からとても楽しみです。

暑い日はまだまだ続きそうですが、着実に少しずつですが過ごしやすくなり、実りの秋に向かっていくように思います。子どもたちも、夏休み前の学校での活動と夏休み中の家庭での取組を上手に組み合わせて、この2学期にしっかりと実を結び、充実した学校生活を送ることができるよう学校全体で支援していきたいと思っています。今後とも、学校に対するご理解、ご協力の程よろしくお願いたします。